



北東中だより

甲府市立北東中学校
令和5年10月11日
文責：校長 竜澤規之
NO. 7 (10月特別号)

本校の学習状況と課題

～全国学力・学習状況調査の結果から～

令和5年4月18日(火)、全国一斉に中学3年生を対象とした『全国学力学習状況調査』が実施されました。このほど、本校における学習状況の分析結果がまとまりましたので、保護者及び地域の皆様にご報告いたします。

【調査内容及び目的】

「教科に関する調査(国語・数学・英語)」と「学習環境や生活に関する質問紙調査」の2種類からなっており、「教科に関する調査」は、「(ア)身につけておくべき知識・技能等」と「(イ)知識・技能等を活用・実践・評価等する力」に関する問題が一体的に出題されました。

この調査結果を基に、本校生徒の学力や学習状況を分析・把握し、各教科における成果や課題、生活状況の実態等を明らかにすることで今後の指導の改善に役立てることを目的としています。

分析結果の概要

1 本校の状況

本校は、国語・数学・英語の3教科とも、県及び全国平均を上回っており、良好な結果でした。特に、今回の英語の得点は、県及び全国の平均を大きく上回っています。

詳細に各教科、領域ごとに分析すると課題もあり、その課題の改善すべき点・改善方法等を考察し、授業内において克服に向けた取組を行っていきます。

	国語	数学	英語
山梨県	70	50	43
全国	69.8	51.0	45.6

※上記の表は、全国平均と山梨県平均を比較した表です。

注) 山梨県の平均点は整数表示になっています。

2 本校の主な課題

<国語>

- ▼意見と根拠など情報と情報との関係について理解することに課題が見られる。
- ▼文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることに課題が見られる。
- ▼聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることに課題が見られる。

<数学>

- ▼統計領域において、相対度数、累積相対度数を求めることに関する理解に課題が見られる。
- ▼関数領域において、グラフを活用して課題解決を図る過程に関する部分の理解に課題が見られる。

<英語>

- ▼社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることに課題が見られる。
- ▼日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることや正確に読み取ることに課題が見られる。
- ▼社会的な話題に関して、自分の考えとその理由を話すことにおいて課題が見られる。

3 教科における主な改善点

〔国語〕

- 意見(主張)、根拠、理由などの情報の役割を捉えながら文章を読む場面を設定する。
- 文章の構成(序論・本論・結論など)、表現の効果(表現技法を含む)など問題演習を中心に学習し、文章中の情報を基に深く読み取る場面を設定する。
- 視点を明確にした上で自分の考え・意見を持ち、それを表現する場面を多く設定する。

〔数学〕

- 統計領域においては、相対度数や累積相対度数のそれぞれの持つ意味や良さを感じられるよう、具体的な問題場面を設定し、解決の過程を振り返るような活動を設定する。
- 関数領域においては、表・式・グラフを活用して課題解決をする際に、用いるものやその用い方を含めて説明する場面を設定することで、表現力を培う機会を充実させる。

〔英語〕

- 目的・場面・状況を明確にした活動を設定する。
- 社会的な話題に関する文章に触れる機会を増やし、内容を大まかに捉える活動を設定する。
- 日常的な話題や身近なことに関する文章においては、必要な情報を正確に読み取る時間を多く設定する。また、文と文とのつながりを意識して読み進めていく指導を行う。
- 日常的な話題だけでなく、社会的な話題に関しての自分の意見を伝え合う活動を設定する。

「学習環境や生活に関する質問紙調査」の分析結果の概要

■肯定的回答が非常に高い(80%以上)質問項目

○自分には、よいところがあると思いますか ○先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか ○先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくれていると思いますか ○人が困っているときは、進んで助けていますか ○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか ○人に役に立つ人間になりたいと思いますか ○普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか

■【学習面で】肯定的回答が非常に高い(80%以上)質問項目

○学習の中で PC・タブレットなど ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか ○1,2 年生時に受けた授業は自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか ○学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか ○あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか

4 本校の主な課題

質問紙調査からうかがわれる課題については、次の2点が挙げられます。

(1) 活字による情報収集に費やす時間が少ない

「新聞を読んでいますか」という質問に対し、81%が否定的な回答をしている。また、「昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか」という質問に対して「月に1~3回程度」「年に数回程度」「ほとんど、全く行かない」という回答の合計が約80%となっている。生徒が持っている情報は、主としてインターネットによる比較的浅いものであり、「視野を広くする」、「深く学ぶ」ことにつながっていない。

(2) 地域とのかかわりが薄い

「今住んでいる地域の行事に参加していますか」という質問に対し、約54%が否定的な回答である。反面、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という質問に対しては、約67%が肯定的な回答である。地域とかがわる機会が少なくなっていることもあるが、積極的にかかわろうという気持ちがあっても、行動に移すことが出来ていない状況がある。

学校としての今後の取組

これまでの分析を踏まえ、今後の取組について以下のように改善を図ります。

- ①基礎的・基本的な学習内容について、小テストやワーク、ICT機器などを活用して反復学習を行い、定着を図る。
- ②活字の資料やITC機器の利用等(個別最適な学習)、及び他者の意見・考えに触れる機会(協働的な学習)を増やし、「深い学び」につながるような授業作りをする。
- ③自主学習ノートや5教科テキストを活用し、自主的・計画的な家庭学習を習慣づける。
- ④現在行っている「めあて」(授業の見直しを持つ)、「まとめ」(授業の振り返りをする)を定着させ、何を学ぶのか、どのように学ぶのか、何を学んだのかが明確な授業を工夫する。
- ⑤地域の人とのつながりを大切に、地域の良さを認識しながら日々の生活を送れるように、地域と学校の連携を図る。